

10 図書・学術情報に関する事項

図書館は、大学の学術・研究活動の拠点として、大学の8学部、1短大、9研究科、1専門職大学院の教育及び研究に必要な図書・雑誌等の学術資料を、各教学主体と共に、精力的に選書・収集した。また、データベース（電子ジャーナルを含む）の充実にも力を注ぎ、これら資料を利用者が効率的・効果的に活用できるように、各種説明会及び講習会を実施した。また、学術機関リポジトリの継続的な運用に努めるとともに、貴重コレクションの充実、整理を促進した。その他、本学が所蔵する図書や学術資料については、定期的な展覧により、大学関係者のみならず多くの一般市民に公開した。

さらに、図書館が抱える多岐にわたる課題のうち、特に5長において具体化が急がれる事項（①図書館における学習支援機能の充実、②外部データベースの効果的・効率的な導入）について、図書委員会のもとにワーキンググループを設置し、関係教職員が参画して事業の具体化に向けての成案を策定した。その具体的成果のひとつとして、深草図書館における「グループ学習エリア」（仮称）を開設した。

1 図書・学術情報を活用した教育支援

●「龍谷ラーニングコモンズ」（仮称）構想の具体化

図書委員会ワーキンググループにおいて、図書館の新しい学習支援環境である「龍谷ラーニングコモンズ」（仮称）構想の具体化に向けて、成案を策定した。その結果、深草図書館1階の軽読書コーナーを「グループ学習エリア」（仮称）に改修することとなり、図書館の新しい学習空間が創設されることとなった。

●蔵書構成の充実

「図書収書計画」にもとづき、図書館員（専任事務職員）と、深草図書館にあっては学生アルバイトが学習用図書（基本図書）の選書に努めるとともに、学生アルバイトによる選書ツアーを2回実施した。また、学生からの「希望図書」、教職員からの「推薦図書」制度を活用することで、学習用図書の充実を図った。

●利用者教育の充実

学部生や大学院生を対象に、オンラインデータベースを活用した、図書・雑誌・論文・新聞記事等の基本的な調べ方や、レポート・論文作成・企業情報収集のための情報検索方法について、定期的に講習会を開催した。

●利用者への情報提供

図書館利用ガイド『LIBRARY GUIDE』、図書館広報誌『来・ぶらり』を発行し、新入生等に配付した。また、HP上でもこれを公開し、図書館活動の広報と利用の促進を促した。

2 図書・学術情報を活用した研究支援

●電子ジャーナルや学術データベースの収集

学術研究や就職活動に役立つデータベースとして、経済・企業情報誌を閲覧・検索できるサービスを新たに契約し、また各学部にて特化したデータベースやアーカイブ資料の充実、オンラインジャーナルの拡充をおこなった。本学が所蔵するデータベースも57種類となり質の高い教育・研究支援に貢献した。

●図書館所蔵資料のデジタル化・情報発信

貴重資料保存調査委員会のもとで、古典籍デジタルアーカイブ研究センターと連携し、資料保存と情報提供とを目的として、図書館が所蔵する資料（古典籍・貴重書等）のデジタル化事業を積極的に推進した。

●学術機関リポジトリの運用

本学の学術研究成果を積極的に電子化し、広くインターネット上に公開した。また、広範な利用者に対応した見やすいWebページづくりを推進するとともに、リポジトリシステムの永続的な管理・運用のための環境を整備した。

●貴重コレクションの充実、整理

本学が所蔵する「長尾文庫」をはじめとした貴重コレクションについて、継続的にその充実を図った。特に2011年度は、大宮図書館が所蔵する「禿氏文庫」について、これまでの研究成果を踏まえ、分野毎に体系化して利用できるように「禿氏文庫目録」を作成した。

図書の蔵書状況および2011年度の図書館利用状況

図書館名	蔵書状況							視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子 ジャーナル ・データベ ースの種類	2011年度 利用状況		
	図書の冊数（冊）				雑誌の種類					入館者数	館外貸出し	
	内国書	外国書	合計	開架図書 (内数)	和雑誌	洋雑誌	合計				冊数	人数
深草図書館 (社会科学研究所を含む)	517,527	346,690	864,217	350,731	4,974	2,672	7,646	32,203	57	358,755	86,492	45,709
大宮図書館	549,808	146,159	695,967	284,221	4,907	523	5,430	5,382		110,994	48,749	24,805
瀬田図書館	248,993	138,987	387,980	354,103	2,050	1,149	3,199	13,439		260,895	54,158	27,860
深草図書館分室	29,051	3,205	32,256	31,330	323	62	385	266		92,946	1,492	790
計	1,345,379	635,041	1,980,420	1,020,358	12,254	4,406	16,660	51,290	57	823,590	190,891	99,164

3 図書・学術情報利用環境の整備

●資料保存環境の調査・整備

適切な温湿度の管理と定期的な清掃によりリスク（カビ害・虫害等）を最小限に抑えるというIPM（総合的有害生物管理）の考え方にに基づき、各館書庫の温湿度計測・害虫トラップ調査、書庫清掃を継続的に実施した。また、カビ害・虫害が確認された図書については、計画的に燻蒸とクリーニング処理を実施した。

●図書館什器リプレイス

深草図書館「グループ学習エリア」の設置に併せて、深草図書館2階の学習室3室に設置されている机・椅子の更新、また同室の扉を防音・採光に優れたものに取り替える等、学習環境の整備をおこなった。

●日曜開館等の実施

利用実態と利用者ニーズならびに開館に係る費用対効果を踏まえ、2010年度に引き続き、日曜開館等を実施した。さらに大宮図書館においては、2010年度に引き続き年末・年始及び春期休業期間中に開館及び時間延長を実施し、利用者の満足度向上に努めた。

●資料所蔵スペースの確保検討

政策学部と短期大学部こども教育学科の開設に伴い深草図書館の資料所蔵スペースが狭隘化している。このことから今後の国際文化学部の深草学舎への移転も見据えた具体的な対応について検討をおこなった。

4 図書・学術資料の公開と施設の開放

●一般市民を対象とした図書館資料の公開

大宮学舎本館展覧室において、特別展観「良如宗主～近



世本願寺の礎を築いた宗主～」及び秋季展観「和歌と物語」を実施し、本学が所蔵する図書・学術資料を、教職員・学生はもとより一般市民にも広く公開した。また深草図書館においては、所蔵コレクションを中心としたミニ展観を6回実施した。

●滋賀県下の高校生等への図書館開放

大学図書館の地域開放政策の一環として、滋賀県下の高校生（期間限定で瀬田図書館のみ）、REC会員等に積極的に開放した。

●図書館資料のインターネット上での公開

「古典籍のデジタルアーカイブ化」ならびに「学術機関リポジトリの構築」に努め、各コンテンツをインターネット上で公開し、学術的価値の高い資料や龍谷大学で培われた学術研究成果の社会的還元を推進した。